

会 議 議 事 録

1 会議名	令和4年度第2回長岡市障害者自立支援協議会
2 開催日時	令和5年3月23日（木曜日） 午後2時から午後3時30分まで
3 開催場所	長岡市社会福祉センタートモニア 3階 多目的ホール
4 出席者名	<p>(委 員) 坂橋 智之 会長 入倉 光一郎 副会長 池野 宏子 委員 井田 智子 委員 大崎 良彦 委員 太田 大輔 委員 菊入 恵一 委員 桑原 拓 委員 小林 由香 委員 佐々木 則子 委員 鈴木 陽子 委員 高桑 裕子 委員 内藤 晴子 委員 中川 よし枝 委員 藤田 芳雄 委員 三谷 力哉 委員 宮下 由加里 委員</p> <p>(事務局) 福祉保健部長、子ども家庭センター所長 福祉課長、福祉課長補佐 福祉課障害者基幹相談支援センター長 福祉課障害支援係長 ほか関係職員 越路ハイム地域生活支援センター 相談支援センターふかさわ分室サンスマイル 障害者相談支援センターとちお</p> <p>※ソーシャルインクルー (日中サービス支援型指定共同生活援助について説明)</p>
5 欠席者名	小田島奈緒子 委員、高橋秋美 委員、福祉課障害活動係長 相談支援センターふかさわ、障がい者支援センターあさひ
5 議題	<p>(1) 専門部会での検討状況等について</p> <p>(2) 各団体からの情報共有</p> <p>(3) 日中サービス支援型指定共同生活援助について</p> <p>(4) その他</p>

6 審議の内容	
発言者	内 容
障害者基幹相談支援センター長	令和4年度第2回長岡市障害者自立支援協議会を開会いたします。開会にあたり、福祉保健部長が御挨拶申し上げます。
福祉保健部長	<p>本日年度末のお忙しい時期にもかかわらず、お集まりいただきまして、誠にありがとうございます。</p> <p>委員の皆様におかれましては、日頃から長岡市の障害者福祉に多大なるご理解、ご協力をいただいておりますことを感謝申し上げます。また、各種部会や勉強会にも精力的にご参加いただきまして、それぞれ手腕をいただいていること重ねて感謝申し上げます。</p> <p>今年度を振り返りますと、大きな動きが二つありました。一つは強度行動障害の方向けの経営体制の拡充に向けたソフトハード両面からの支援が本格的に動き出したということです。もう一つは、在宅の障害者のセーフティネットになる地域生活拠点事業です。新年度からスタートできるように準備が整いました。</p> <p>いずれも、この自立支援協議会の場でご意見を頂き、十分に議論し、精査させてもらった結果になります。</p> <p>来年度は第7期の障害者基本計画障害福祉計画、第3期の障害児福祉計画の策定年度になります。今後、この計画の中身を詰めていくこととなりますが、引き続き委員の皆様から、ご意見等をお願いしたいと思っております。今後も皆様それぞれの立場あるいはその分野で、長岡市の障害者福祉施策に対するご理解、ご協力をいただきまして、この障害者福祉の一層の充実が図られるようお願い申し上げます。挨拶とさせていただきます。本日はよろしく願いいたします。</p>
障害者基幹相談支援センター長	それでは次に本協議会の坂橋会長よりご挨拶いただきたいと思います。
坂橋会長	<p>非常に今年度動きがあった年だったと思っております。今日はその動きがどんなものであったかという報告になります。</p> <p>また、次年度の施策になると思いますが、PDCAサイクルを私どもの施設でもよく活用していますが、PDCAサイクルは、計画を重視いたしますので、時間がかかります。</p> <p>成功したり失敗したりするなど、いろいろあるかと思いますが、できるだけ早く切り換えて、年度途中でも次の施策を打てるようなものになって欲しいと思っております。</p> <p>今日はよろしく願いいたします。</p>

<p>障害者基幹相談支援センター長</p>	<p>協議会開催要領第6条第1項の規定により、協議会は会長が議長となるとされていますので、これ以降の議事進行は坂橋会長からお願い致します。</p>
<p>坂橋会長</p>	<p>それでは、次第に沿って進めさせていただきます。 質問等については、報告が終わってからお願いします。</p>
	<p>次第、3 専門部会の検討状況について</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 相談体制部会 (資料No.1-1～1-2により説明) ・ 相談支援部会 (資料No.2により説明) ・ サービス受け皿検討部会 (資料No.3により説明) ・ 就労部会 (資料No.4により説明) ・ 地域づくり部会 (資料No.5により説明) ・ 障害者にも対応した地域包括ケアシステム協議の場 (資料No.6-1～6-2により説明) <p>全体を通しての質問等を受け付けさせていただきます。</p>
<p>委員</p>	<p>サービス受け皿検討部会について質問。</p> <p>①検討状況報告書の生活介護利用者の中で、「他サービスへ移行できると良いと見立てられているが移行しない」という方は何名いるのか。</p> <p>移行しないという方は、「ご本人やご家族の意向なのか」、「支援者側の見立てなのか」確認をさせていただきたいと思います。</p> <p>②意見ですが、今回は基準該当の生活介護については一定の検討のところからは外して、適切な生活介護につなげるというところでの取り組みに、より一層力を入れていただくところかと思えます。基準該当の生活介護についても、うまく活用ができるといいと思います。特に地域の社会資源の少ないところにおいては、そういった基準該当の生活介護のところもうまく取り込みながら、地域での生活を支えていただけると良いと思っています。</p>
<p>事務局</p>	<p>①について、市内事業所向けに行ったアンケート結果から、「生活介護から他サービスへ移行できると良いと見立てられているが移行しない」という方は7名でした。他サービスの内訳は就労継続支援 B 型が3名、介護保険サービスが4名、基準該当生活介護が0名でした。いずれのケースも支援者が見立て、ご本人やご家族に他の適切なサービスへの移行を提案しましたが、ご本人やご家族が希望されませんでした。</p> <p>それらの理由について、就労継続支援 B 型の3名は、20～30代でよりステ</p>

	<p>アップアップが見込まれましたが、作業中心でない取り組みを継続して欲しいからとのことでした。また、介護保険サービスの4名は、60代後半～70代で、ご本人が変化を望まなかったり、現状のサービスを継続したいからとのことでした。</p> <p>②のご意見に関して、今回のアンケートでは基準該当生活介護に移行できると良い方は0名でした。推測になりますが、地域全体で基準該当生活介護を活用していこうという発想が希薄だったのではないかと思います。今後の取り組みの参考とさせていただきます。</p>
<p>委員</p>	<p>地域づくり部会について質問。</p> <p>コーディネーターについて、委託のコーディネーターを配置しながら、基幹でもコーディネーターを置くということで、重層的な形を目指していると思いますが、予算的などころも含めて経過を教えてください。</p>
<p>障害者基幹相談支援センター長</p>	<p>各委託相談支援事業所にコーディネーターを置くというのはご説明した通りですが、コーディネーターになる予定の方々から、支援には行政と一緒に動きたいという要望がありました。また、夜間、委託相談支援事業所のコーディネーターが1名体制の際に、現場により複数で対応しなければならない場合に対する懸案もありました。</p> <p>それで現在、基幹センターの方でも地域生活支援コーディネーターとして、1名を配置をする予定です。基本的には障害者の方の在宅生活を支える役割全般を担う予定で、これは国の方で合致した補助事業もありましたので、それを活用しながら、予算の承認をいただきまして、令和5年4月から配置する予定であります。</p>
<p>委員</p>	<p>長岡市立高等総合支援学校の教育活動にご理解とご協力をいただきまして大変ありがとうございます。</p> <p>この場をお借りして御礼申し上げたいと思います。</p> <p>私の方からは、質問、意見というよりも、お礼とお願いを申し上げたいと思います。</p> <p>一つ目は、当校の高校3年生の進路についてのお話です。昨年この場で、令和3年度の卒業生の中で、一つも行き場所がなかったというお話をさせていただいたかと思います。学校としてもすごくショッキングなことでした。</p> <p>でも、その後、1週間に1日、午後1時間だけとか、そういうふうに入居の検討をいただきまして、徐々に居場所がつけられております。ありがとうございます。</p> <p>今年ですが、一人も居場所が見つからなかったという生徒がおりませんでした。本人、家族が望むとおり、1週間のうち5日間居場所が見つかりました。11人中、</p>

委員	<p>10人が5日間居場所をつくる事ができました。</p> <p>今お配りいただいている学校だよりの裏のページに勤務状況が載っているので、そちらをご覧くださいとよろしいかと思います。</p> <p>11人中11人の居場所を見つけることができましたということです。</p> <p>これは、本人の頑張りもあったと思いますが、実施を快くお引き受けいただいたサービスを提供している事業所に感謝を申し上げたいと思います。</p> <p>二つ目は、相談支援部会の皆様の取り組みに感謝申し上げたいと思います。</p> <p>いつも4月から障害福祉サービスの必要があって、受け入れ先が決まってから相談支援事業者を見つけて、相談に入っていただくという生徒が10名弱いますが、その親御さんが相談支援事業所を見つける際に、「どうしても見つからない、先生どうすればいい」とSOSが来ていましたが、今年は1件も私のところには来ませんでした。</p> <p>いろいろな皆さんに支えられてる学校だなと思います。ありがとうございます。</p> <p>一つ目の質問は、サービス受け皿検討部会のところで介護保険へ移行できると良いと見立てられる方が4名ほどいましたとの報告がありましたが、障害から介護保険へ移行された数を把握されているかどうか聞かせてください。</p> <p>二つ目の質問は、この介護保険事業所のケアマネージャーや高齢者基幹包括支援センターや障害者基幹相談支援センターとの連携をどのようにされているのか聞かせてください。</p>
事務局	<p>介護保険に移行された人数についてですが、サービス受け皿検討部会では、把握できておりません。今ご意見いただいた取り組みを来年度から実施していけたらいいなと感じました。</p> <p>また、相談支援部会で高齢分野との連携については話が出ておりますが、それも今後連携していけたらと思っています。</p>
事務局	<p>相談支援部会でも、今後新規に計画相談を希望される方が増えていくことは予想しています。また、出口の部分で介護保険に移行できる方もいるのではないかと思います。来年度、高齢機関と障害分野とでいろいろ勉強会を行いながら、スムーズに移行できる体制について検討してはどうかという話も出ております。</p> <p>これについては、来年度の部会が始まりましたら、現状確認を行いながら、必要があれば取り組んでいきたいと考えておりますので、今いただきましたご意見を参考にまた検討していきたいと思います。</p>
委員	<p>地域づくり部会について、評価の中に利用者目線を中心という項目がありますが、すごく大事な事だと思っています。</p>

	<p>今の取り組みのスタートのところは、どうしても支援者の立場で、どういうふうに仕組みを作っていくかを考えているので、そういうところへの目がまだ行き届かないことが多いのではないかと思います。結局これを利用するのは利用者であり、利用者の目線でどうなのかということを最終的にはとらえていかないといけないと思います。</p> <p>例えば就労支援になります、実際に障害者雇用で就労してる人たち、当事者の方は非常にたくさんの悩みを抱えております。職場の中で孤立してたり、うまくいかなかったり、はっきりした問題だったらどこかに訴えることもできると思いますが、何となくぼんやりしたような不安みたいなものを、できたら同じ就労者同士が集まって愚痴をこぼせるような場があって、そこで本音が出せて、本当にこういうところが辛いんだっていうようなことが言えるような場が設けてあったら、もう少し繋がっていくと思います。結局うまくいかなかったりする、問題を抱えて親に愚痴を言っても解決せず、結局辞めていくというふうな形が見られるわけですので、制度とともにその当事者と利用者自身がどういうところで困っており、どういうことを望んでいるのかということ、丁寧に見ていけるようにお願いしたいというのが希望です。</p>
委員	<p>就労部会のところで就労関連機関がありますが、どんな機関なんでしょうか。</p>
事務局	<p>就労部会で参加していただいている機関としましては、ハローワーク、障がい者就業・生活支援センターこしじ、民間精神科病院、高等総合支援学校の先生、長岡地域若者サポートステーション等になります。障害をお持ちでない方、あるいは障害の診断が出ているけれども障害福祉サービスをご利用されることに抵抗があったりする方に対しても、情報提供したいと思っています。</p> <p>各機関が取り組まれている内容は、いずれも就労に向けての取り組み内容です。それぞれ似ているけれども、違うところもあります。各機関がお互いどのようなテーマで情報発信し、どのように工夫しながら取り組むことで成功しているのかというところを、情報共有しています。</p>
坂橋会長	<p>相談支援部会の方で、アクションプランを実施してまだ3ヶ月ぐらいなので、その効果は確認できていないが、結果的にたらい回しはなかったと報告を受けましたが、それはアクションプランの確認はこれからだけでも、事業所間の連携の中で、そういった形で結果が出たというように理解してよろしいでしょうか。</p> <p>各部会からの報告の中で「繋がり」というキーワードが出ていましたが、改めて福祉の分野は、顔の見える関係、繋がりが大事だと感じさせていただいたところでは。</p> <p>その中で介護保険等の話で委託の地区担当制が始まった時に担当地区の地域包</p>

	<p>括支援センター、病院等で一緒に研修会、勉強会をしたことがありますが、その時に「障害ってこんなことやってるんですね」と言われることがあり、やはり医療福祉の中でも、縦割りになっている部分が多く、知られていないところが多くありました。先ほど冒頭で、いろいろと動き出したという話がありましたが、まだこれからだなというのを改めて皆さんのご質問を受けながら感じたところです。</p> <p>また、「繋がり」ということで、継続してやっていただけたらというふうに改めて感じました。</p>
坂橋会長	<p>次第、4 各団体からの情報共有について 2団体より説明</p>
坂橋会長	<p>次第、5 日中サービス支援型指定共同生活援助について</p>
ソーシャルインクルー	<p>ソーシャルインクルーより説明（資料No.8により説明）</p>
坂橋会長	<p>質問等をお願いいたします。</p>
委員	<p>身体、知的、精神障害それぞれの障害者は、同居ということでしょうか、それぞれを受け入れて、グループホームとして活動するということでしたが、例えば身体障害といたしましても、視覚障害と、聴覚障害全く支援の仕方が違ってきますし、同じ視覚障害の中でも重度障害者から軽度、若干見えるという弱視がいます。そういう方が同じグループホームの中で生活ができるのかどうなのかなというふうに感じております。</p> <p>500以上の事業所を持ってらっしゃるというふうにお聞きしていますので、うまくやっけていらっしゃると思いますが、イメージがわからないのでお聞かせいただきたいと思います。</p>
ソーシャルインクルー	<p>我々の施設は身体、知的、精神障害を受け入れる施設です。実際、身体障害の利用者の受け入れに対しては、実質は肢体、上肢下肢と身体的な四肢の障害を想定しております。施設の内部には、視覚、聴覚の障害の方を受け入れられるような体制は今現在は整っておらず、上肢下肢四肢身体障害のある方向けの施設として対応しているところです。</p>
坂橋会長	<p>権利擁護に対する配慮のところ、虐待防止委員会等の開催、それから身体拘束の適正化検討委員会の開催等が「現在なし」ということになっていますが、今</p>

ソーシャルインクルー	<p>後の方向性、実施について教えてください。</p> <p>権利擁護に対する配慮としての、各委員会につきましては、毎年委員会として部会、研修委員会の会議を開く体制をとっております。現在は計画の段階ですが、来年には実施させていただきます。</p>
障害支援係	<p>日中サービス支援型指定共同生活援助について</p> <p>自立支援協議会に対し、年1回以上定期的に事業実施方法を報告をさせていただきますので、よろしくお願いいたします。</p>
坂橋会長	<p>大変活発にご質問をいただきまして、ご意見等もいただきましてありがとうございました。予定しておりました議題をすべて終了させていただきました。</p> <p>それでは進行を事務局に返します。</p>
障害者基幹相談支援センター長	<p>本日の協議会で令和4年度の活動完了といたしますが、全体を振り返りまして、本来であれば委員の皆様からご意見ご感想を頂戴したいと思っておりますが、感染症対策と、時間も押しておりますことから、全体を通しまして何かご意見、ご発言ある方、挙手にてお願いします。</p>
委員	<p>長岡療育園は、この4月から新潟県医療的ケア児支援センターを開設しております。その中で、いろいろなお子さんの課題ですとか、いろいろな話をご家族、また関係者の皆さんからいただいております。</p> <p>長岡市においては以前、子供部会があったと承知をしているところですが、今現状では子供の支援に関して、それぞれの部署で対応いただいているというところでもあります。ぜひ横の繋がりの中で関係者で課題に対して考えていけるような、体制ができれば嬉しいなというふうに思っております。例をお話すると、学校や保育園において看護師がいないことで、入園ができなかったり、学校において保護者のご負担が生じたりといった問題があるところは、それぞれ承知されているところかと思えます。そういったところを横の連携の中で皆さんで考えていくといったところも含めて、何か協議の場という形が必要と考えています。</p> <p>もう一つは、ご家族から将来のことが不安なんですと相談されます。どんな生活やどんなサービスが必要ですかとお聞きしたら、一緒に生活できるような場があったら一番理想的ですと話をされていて、家族の形態も様々ありますが、中にはひとり親で、ご兄弟のいらっしゃる方もいらっしゃいます。その不安が一層強いのかなと改めて感じたところです。老いていく中での生活、ご家族が障害のあるお子さんを見ていくことが難しくなっていく中で、施設という選択肢が一つあったり、グループホームという選択肢もあると思います。その中で自分も入</p>

<p>委員</p>	<p>れてご本人も入れて一緒に生活ができるような場所があればいいなというお話を、本当に複数の方から同じタイミングでいただいたところです。</p> <p>今現状としてはすぐの解決は難しいと思いますが、皆さんで話し合っただけでいけるような場を作ることを長岡市でやっていただきたいと思います。</p> <p>先ほどの話と繋がりますが、地域によっては買い物に行ったり、病院に行くことも難しいということもあるかと思っています。そういったところでは都市部の生活しやすいようなところでそういった施設があったりすると、より皆さんが安心して過ごせるのかなと思います。</p> <p>言葉は適切ではないかもしれませんが、スマートシティという話も出たりするので、そのような都市の生活の中で、そういった施設もあるといいのかなと思います。以上、情報提供になります。</p> <p>病院、医療の方から見しても、職員や外来の患者は、なかなか福祉サービスについて理解が進んでない状況です。長岡市として相談支援体制というところは、ご報告いただいた通り、しっかり一歩も二歩も進んでいると感じられました。当事者たちがしっかりサービスに繋がるところは、今後課題になっていくところかと思いました。</p> <p>精神障害にも対応した地域包括ケアシステム協議の場では、当事者の方が委員として入っていますし、ご家族の方も入っているというところで、できればこういった当事者の人たちが一緒に地域づくりをやっていく、というところが良いかと思っています。どうやったらみんながサービスを使えるようにすることができるか、すごく大事なので、その点でも、各部会でしっかり考えていただければいいのかなと思いました。</p>
<p>障害者基幹相談支援センター長</p>	<p>事務局の方から、入倉副会長の退任につきましてご報告させていただきます。副会長からは、私どもにはない視点からの貴重なご意見を数多くいただきましたが、この度本人から退任のご意向をいただきました。</p> <p>事務局としましても、断腸の思いではありますが、委員の退任についてご報告させていただきます。</p> <p>つきましては、入倉副会長の方からご挨拶をいただきたいと思います。</p>
<p>入倉副会長</p>	<p>まだ自立支援協議会の委員として2年目ということですが、このたび退任させていただきます。</p> <p>ずっと15年ぐらい長岡市では就労関係のことをやってきましたが、そこで関係機関との繋がりや利用者の目線を感じながら取り組んできました。</p> <p>これまでの、今回の会議の中でもありましたが、「繋がり」の大切さを実感しております。</p>

<p>障害者基幹相談支援センター長</p>	<p> 今後は、長岡でできた繋がりをそのまましばらく活かしていけたらなと思っております。引き続き同じような仕事をしておりますので、またどこかでお会いすることがあるかと思いますがよろしくお願いします。今までありがとうございました。 </p> <p> これまで大役をお引き受けいただきまして、誠にありがとうございました。なお新たな副会長につきましては、次年度委員の互選により選出させていただきたいと思っております。 </p> <p> それでは以上をもちまして第2回長岡市障害者自立支援協議会を閉会いたします。 </p> <p> 本日はお忙しい中、ご出席いただきまして誠にありがとうございました。 </p>
-----------------------	--